

実施要項

●**旅行期間** 2012年3月26日(月)～3月29日(木) 4日間

●**旅行費用** ￥138,000.-

●**最少催行人員** 15名様以上

●**旅行費用に含まれるもの**

- ①日程記載の航空運賃(エコノミークラス)
- ②学校訪問及び空港ホテル間のバス費用
- ③ホテル代(1室2名様/バス又はシャワー付き)
- ④食事代:全食事付(税・チップ等サービス料を含む)
- ⑤空港、ホテル、バス等での手荷物運搬料金
(お一人様旅行用靴1個/20kgまで無料)

●**旅行費用に含まれないもの**

- ①荷物超過料金(20kgを超えるもの)
- ②燃油特別付加運賃及び各国空港税
※出発前迄に変更になる場合があります。
- ③シングルルーム追加費用
- ④団体取扱費用(¥8,400)
- ⑤任意の旅行傷害保険料
- ⑥指定見本市等の入場料

●**申込締切**

2012年12月20日(火)

※台湾政府に対して名簿提出の為

●**振込先**

銀行名:三井住友銀行 日比谷支店
名義:ベストワールド株式会社
口座:当座2102391

●**渡航手続き**

パスポートをお持ちの方は顔写真のページのコピーと顔写真(縦4.5cm×横3.5cm)1枚を海外文化センターにご郵送願います。パスポートをまだお持ちでない方はお問い合わせ下さい。

●**キャンセルについて**

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は取り消し料がかかります。

- *30日前～3日前までの場合 費用の20%
- *2日前～出発前日までの場合 費用の50%
- *旅行開始後の取消の場合 費用の100%

※参加と同時に航空機、ホテル、交通機関等に予約金が必要で支払った場合、キャンセル料とは別にかかる実費を頂きます。

●**旅行申し込み方法**

添付の旅行申込書に必要事項を記入の上、FAX又は郵送にてベストワールド様にお送り願います。同時に申込金¥70,000をお振込みの程お願い致します。

(申込金は旅行費用の内金となります。)

10月現在を基準にしております。参加人員が15名に満たない場合、出発前に大幅な為替変動などがあった場合、航空運賃が変更になった場合には、旅行費用が変更となる場合がありますのでご了承下さい。

旅行出発便、帰国便は業務の関係上で変更になる場合がありますのであらかじめご了承お願い致します。

●**規約事項**

旅行中天災事変、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの変更が合った場合、その他止むを得ざる事情があった場合などは、経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅行業約款によります。

個人情報保護法にもとづき、申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲以内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商品やサービスのご案内、旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人情報をご利用させていただくことがあります。

委託業務 ベストワールド株式会社

◆お問い合わせ◆

株式会社教育家庭新聞社

〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL: (03)3864-8241 FAX: (03)3864-8245

◆お申込み◆

海外文化センター

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4
TEL: (03)3295-4114 FAX: (03)3295-4118

フリーダイヤル: 0120-191931

業務委託: ベストワールド株式会社

(観光庁長官登録旅行業第145号)

----- キリトリ線 -----

教育家庭新聞社協賛 台湾の教育現場から学ぶ 参加申込書

フリガナ 氏名	-----	生年月日	19	年	月	日生(才)	性別	男	女
現住所	〒	電話: ()		FAX: ()		携帯: ()		メールアドレス:	
国内 連絡先	氏名	続柄	電話: ()		FAX: ()				
学校名									
所在地	〒	連絡先		電話: ()		FAX: ()		メールアドレス:	
お部屋割り	【 】二人部屋希望(同室希望者:)		喫煙の有無		【 】喫煙		【 】禁煙		
海外旅行傷害保険のお申込み	【 】旅行会社が手配する(エース保険)	ビジネス クラス	【 】希望する		成田空港での		前泊希望【 】		
	【 】ご自身にて手配する		【 】希望しない		後泊希望【 】				
			※別途追加費用あり		※別途追加費用あり				
ローマ字氏名									

※お名前(ローマ字)はパスポートに記載(又は予定の)アルファベットのつづりを正確にお知らせください。

=台湾政府の協力による英語研修=

台湾の教育現場から学ぶ

期間:2012年3月26日(月)~3月29日(木) 4日間



**協 賛: 全国英語教育研究団体連合会
教育家庭新聞社**
協 力: 台北駐日経済文化代表處文化部
企 画: 海外文化センター
(代表 田崎清忠 横浜国立大学名誉教授)

先生各位

日頃、我が国の英語教育に携わり、また全英連の活動にご協力のこと、大変有難いと思っております。ドッグイヤーと言われる如く、毎年毎年、情報通信の機器の進歩には、ただただ驚くばかりです。この進歩に伴い、また英語の必要性、重要性は、いや増すばかりとなっております事をご高承の通りであります。2011年は、韓国政府のお世話、ご手配で韓国の小・中・高の英語教育の現場をつぶさに実見しました。参加された先生方は、小学校5年の生徒が、オーストラリアの小学生とテレビ会議を行っており、その英語力には、等しく驚嘆されておられました事は帰国後の報告に述べられておられました。

2012年は、アジア地域に於いて台湾は韓国以上に英語教育に力を入れております。この教育状況をつぶさに視察研修することは、今後の英語教育に大変有意義であると考え、先生方各位にご案内することと致しました。我が日本において、中学、高校では履修科目として英語は教科となっておりますが、今年始まりました小学校での英語は、教科ではなく試験を伴はない領域として位置づけられております。また別の表現では英語活動ともいわれております。この様な実態からは全世界の英語教育の格付けでも日本はほとんど下位に位置づけられております。これ等のことから、現実に台湾の英語教育を視て頂き度と存じます。今回の研修、視察につきまして台北駐日経済文化代表處文化部の林 默章氏のご手配で、現地での視察研修を行うことになっております。何卒、上述の事を踏まえ、ご参加賜ります様、ご案内申し上げます。

台湾の英語教育事情

台北では歩き始めたばかりの幼児が喜びながらネイティブの先生の指導のもと、英語で一つ一つの言葉を繰り返ししゃべりながら英語を習得していきます。現在、ほとんどの市立の幼稚園ではバイリンガル教育を行っており、台湾の小学校では英語は必須科目となっております。

台湾の教育省では英語を今後の重要な教科と位置づけ、試験や棒暗記といった教え方ではなく、より効果的な指導をすべきと主張しています。

学校の他に民間の英語学校に通っている生徒もいます。英語学校では教師は全てネイティブで、ゲームや絵を使用し、英語の楽しさを教えています。

また台湾では、多くの共働きの家庭でタイ人、フィリピン人やインドネシア人の家政婦を雇っています。その場合でも英語の話せるフィリピン人の家政婦の給与が高く雇われるということからも保護者が子供に対する英語教育の熱の入れ方がわかります。

以前の台湾では外国語の学習は私立小学校でのみ行われておりましたが、その状況は、経済的余裕のない家庭の子供が公立学校で外国語習得できないことを意味しました。国の発展を考えた場合でもすべての生徒が英語を習得しなければならないということで、台湾政府は今後さらにネイティブスピーカーとのコミュニケーション出来る機会を増やすべきだとして、英語の授業は台湾人が文法を、ネイティブが会話を教えるようにと提案しています。



2012年 英語教育先進国 台湾を見る 日程

第1日目 3月26日(月) 東京(羽田) ⇒ 台北			
東京(羽田)発	午前	航空機	成田国際空港集合。出国手続き終了後、台北へ向け
台北着	午後		出発。台北到着後、専用車にて市内視察。終了後、ホテルへ。
第2日目 3月27日(火) 台北滞在			
午前：台湾教育部国民教育司(文部省)訪問			
<ul style="list-style-type: none"> ○国、都市部における英語教育について ○カリキュラム、教員研修について ○外国人教員の採用、配属、予算についての政策 ○英語を公用語としてとらえた場合の教育の在り方 ○問題であった「話せない英語」から「実用的な英語」への転換を具体的にどのように行っていたか 			
午後：台北市秀朗国民小学校訪問			
<p>生徒数 10,000人以上、教員 1,000人以上の超マンモス校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4領域別の教え方について ○学校の団体活動(ホームルーム、朝礼)などを利用して英語をどのように教えているか。 ○台湾の社会を反映させた児童英語教材について 			
第3日目 3月28日(水) 台北滞在			
午前：国立台湾師範大学附属国民中等・高等学校訪問			
<p>台湾を代表する教育大学である国立台湾師範大学の実験中学として設置されており、一般の公立学校と比較すると独自のカリキュラムを用いているのが特徴である。カリキュラムのみならず学校編成においても実験的な要素が大きく、他の公立高校に比較して進学に主眼を置かない教育を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○台湾でも特に進学校における英語教育の在り方。 ○英語教員の質の充実をはかるために教員採用時、教員養成のための研修について ○小学校英語教育を発展させた中学校での英語教育について 			
午後：台北市建国高等中学校(男子校)訪問			
<p>同校は台湾において、トップクラスの進学校と目されている。戦前の日本では、「台北一中」の略称と共に、台湾の筆頭中学校として知られていた。現在も台湾大学への入学者数は台湾一であり続け、「台湾の一中」ないし「天下の建国中学」の矜持を永らく保持してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高等教育における「国際共通語」としての英語教育 ○中学での「実用英語」のカリキュラムを高校ではどのように行われているか 			
<p>◎敦煌書店訪問(洋書・英文書) ※世界中から幼児、小学校の英語教育のテキストを集めて配布。英語の啓蒙運動を独自に実施</p>			
第4日目 3月29日(木) 台北 ⇒ 東京(羽田)			
台北発	昼	航空機	空路、帰国の途に。
東京(羽田)着	夕刻		帰国手続き終了後、解散。



※東京発着の他、福岡空港、関西空港、中部国際空港、札幌空港利用も出来ます。(※料金が異なります)